

# 1. 評価報告概要表

作成日 平成19年11月 30日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1172000364
法人名	財団法人 鳩ヶ谷中央病院
事業所名	博寿会 ゆとりの郷
所在地	334-0001 埼玉県鳩ヶ谷市桜町6-12-55 (電話) 048-283-3611

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成19年11月15日

## 【情報提供票より】(平成18年11月13日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成16年10月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤8人, 非常勤1人, 常勤換算6人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り 2階建ての2階部分
------	-------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000円 ~ 65,000円	その他の経費(月額)	15,000円 + 実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 300,000 円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,333円			

### (4) 利用者の概要(11月13日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80 歳	最低	72 歳	最高	89 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	財団法人 鳩ヶ谷中央病院、(医)赤羽歯科鳩ヶ谷診療所
---------	----------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体法人の広大な敷地の一角に建てられたホームは、豊かな自然と医療面でのバックアップ体制が備わっている恵まれた環境にある。また職員は母体病院の経験豊富な介護職員が多く配属されており、認知症ケアの十分な経験を積んでいる管理者のもと、すべての職員が理念の実現に向け前向きに日々のケアに取り組み、利用者の穏やかな様子と、ホームのゆったりとした雰囲気に繋がっている。今後は外部評価を積極的に活用し、さらなるサービスの質の向上に期待したい。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価の結果を受けて、改善課題について話し合い、具体的な改善に取り組み、日々実践につなげている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者が中心となり職員全員で自己評価に取り組んでいる。ケアの振り返り、点検、見直しなどは、年1回の外部評価時だけでなく、職員相互が日常的に取り組む姿勢が伺える。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議の参加メンバーを調整中であり、会議の開催には至っていないが、メンバーとして、家族、地域包括支援センターについては了解を得ている。また民生委員、町会からの参加は検討中である。参加メンバーが確定次第、会議の開催を予定している。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族には毎月写真を添えた手紙で、日頃の暮らしぶり等を報告している。また、来訪時や電話等でもこまめに連絡するよう努めている。運営推進会議への参加も予定されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入しており、自治会行事への参加やホームの行事に誘うなど地域の方達との相互交流に努めている。前庭には桜の大木があり、春には近隣の住民がお花見に来られるなど、日常的に地元の住民と関わる機会があり、良好な関係を築いている。</p>

## 2. 評価報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を職員で確認し、これまでの理念に「地域住民との交流を図る」という文言を加え、事業所独自の理念となっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は毎日、理念を口頭で確認しあい、常に理念を意識しながら、日々のケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、自治会行事への参加やホームの行事に地域の方達を誘うなど、地域の方達との相互交流に努めている。前庭には桜の大木があり、春には近隣の住民がお花見に来られるなど、日常的に地元の住民と関わる機会がある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の結果を受けて、サービスの具体的な改善に取り組み、実践につなげている。またケアの振り返り、点検、見直しなどについては年1回の評価に留まる事なく、職員相互が日常的に取り組む姿勢が伺える。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の参加メンバーを調整中であり、会議の開催には至っていない。		参加メンバーとして、家族、地域包括支援センターについては了解を得ている。また民生委員、町会からの参加は検討中である。参加メンバーが確定次第、早急に会議を開催することを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホーム側からの情報提供や市との協働体制の構築には至っていない。		まずは、運営推進会議への参加要請をし、市担当者がホームの実態や考え方について理解をする機会を設けることが求められる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月1回、本人の日頃の暮らしぶり等を記した手紙を写真とともに送っている。また、必要に応じて家族と電話での連絡を取っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	訪問時や行事参加の折には、家族の要望や意向が表出しやすいよう声掛けや話し合いの場を設けている。また、家族等から得られた意見を運営に活かすよう取り組んでいる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者それぞれに担当職員が決められているが、それぞれの情報は職員間で共有されている。異動等の際には十分な引継ぎにより、利用者への影響がないよう最善の努力をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修や職員各自の資格取得について、柔軟な勤務シフトを組み、研修参加等の機会を確保している。また管理者は認知症ケアについて長年の経験を積んでおり、職員へは現場で共に考え、助言するなどし、サービスの質の向上に向け取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入し学習会等に参加するなど、同業者との交流を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人、家族の希望により見学や体験入居が可能である。また、体験宿泊には至らずとも、ホームに気軽に遊びにきてもらう機会を作るなどし、徐々にホームの雰囲気馴染みながら入居へと移行できるよう柔軟に支援している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は本人と関わる時間を多くするよう努め、本人の思いや喜怒哀楽に共感しながら、共に暮す関係作りに留意している。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者それぞれに担当職員が決められており、日々の関わりや観察、職員間の話し合いにより本人の意向の把握に努めている。</p>		
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族との日頃の関わりの中でその思いや意見を聞き取ったり、職員間で介護計画についての話し合いの場を設けることにより、利用者一人ひとりに合わせた計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の観察、記録をもとに定期的な見直しを行っている。また、状態の変化に応じて随時計画の見直しを行い、家族、本人の要望を取り入れながら介護計画を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の希望や状況に応じ、入居以前から利用していたかかりつけ医への通院や送迎など必要な支援は柔軟に対応している。また、ぶどう狩りや遠足など遠方への外出支援を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診等には基本的には家族が同行しているが、事情に応じて職員が通院介助等の支援をしている。また、協力医療機関への定期的な受診についても支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	原則として重度化や終末期の支援については、入居時に家族へ説明の上、併設の病院(運営母体)へ入院の方針となっている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーに配慮した声掛けが徹底されており、個人記録は個々にファイルされきちんと保管されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活歴や性格、思いを職員は把握しており、利用者の希望、ペースに合わせた暮らしを支えている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理、食事、後片付けなどが、利用者と職員の双方の支え合いにより進められている。ホームの庭で収穫された梅で作られた梅干しや、筍、銀杏を使った季節の献立も楽しまれている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個々の希望に応じ、いつでも入浴が可能であり、1階の大浴場では、複数の利用者が一緒に入浴しながら温泉気分を楽しまれている。また、衛生管理がきちんとなされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物干しや、縫い物、畑での作業や食事の後片付けなど、個々の力が発揮できる場面を作っている。また、遠方への外出、地域行事への参加など楽しみごとについては、記録写真の笑顔からも豊かな暮らしへの支援がなされている様子が伺える。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	恵まれた環境を十分に活用しながら、日常的に戸外で過ごす機会を設けている。また、近隣の寺院境内への散歩や外食、百円ショップへの買物など、心身の活性化につながる外出支援が積極的になされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物の玄関、2階ホームの出入り口は開錠されており、ホーム出入り口のみセンサーが取り付けられ、職員の見守りの徹底とともに、利用者の安全に配慮した自由な暮らしを支援している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力により、年2回の防災訓練を実施している。また地域の防災訓練時にはホームの前庭が利用されており、併設の病院敷地が災害時の近隣避難場所となっているなど、地域住民との関係も築けている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材は栄養バランスやカロリーに配慮されたものを一括購入しているが、献立はホームでの季節の収穫物を取り入れるなど、食事を楽しむ工夫がなされている。食事、水分共に一日の摂取量はきちんと記録されており、一人ひとりの状態に応じて必要な支援がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全体にゆったりとしたスペースが確保されており、リビングにはダイニングテーブルと椅子、テレビの付近にはリビングテーブルとソファが配してあり、さらに和室もある。利用者の共同制作による季節ごとの貼絵が壁を飾り、家族から届けられた鉢植えの植物も置かれている。ベランダ脇の水槽ではメダカが育てられ、利用者は思い思いの場所で穏やかに過ごされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に本人の馴染みの品が持ち込まれており、利用者それぞれの個性が感じられる居室となっている。		